

# 誰もが安心して働き続けられる 社会と職場をつくろう

人間らしい暮らしには  
時給1500円が必要

つどいでは、静岡県立大学短期  
大学部の中澤秀一准教授の「最低  
賃金1500円をめざして〜ひとり  
ひとり人間らしく〜」と題し  
た記念講演がありました。

全国的に統計をとった最低生計  
費によつて、全国どこでも最低賃  
金は時給で1500円が必要であ  
るといふ根拠として示されまし  
た。また、「時給1500円」と  
聞けば「高すぎる」とも思われる  
が、1日8時間の週休2日制で働  
いた場合の月収は24万円で、年収  
になると280万円ほど。これが  
わかれば、「時給1500円は普  
通」という考えになることが紹介  
されました。

非正規労働者の願いに  
応えていない法改正

非正規労働者の実態アピールで  
は、大阪自治労連関連連評の幹事有  
志がフリップをめくりながら地方  
公務員法・地方自治法の改正につ  
いて説明し、「いつでも雇止め」  
『いつまでも非正規』の職員がま  
すます増えると、自治体の役割が  
はたせなくなる」と訴えました。  
そして争議などの報告では、吹  
田市非常勤職員雇止め撤回裁判  
闘争、守口市の学童保育の民間委  
託にかかわる訴えがありました。

第21回パート・非常勤・ヘルパー・派遣労働者のつどい



つどいで登壇した関連連評の有志

## 雇い止めは許さない ワーキングプアをなくそう

10月14日、天王寺区民センターで「ストップ貧困 新たな一歩を！私たちのめざす『働き方改革』で」をスローガンに、「非正規も正規もあつまれ!! 第21回パート・非常勤・ヘルパー・派遣労働者のつどい」が開催され、180人が参加しました。



「もりぐちの学童保育を守るつどい」には  
200人以上が集まりました。(10月29日)



「支援するつどい」で決意を語る  
原告の藤井さん(10月23日)

最高裁での逆転勝利  
めざし引き続きご支援を



吹田関連労働組合  
丹羽 博子さん

原告2人が職場を追われ5年にな  
ります。大阪地裁・高裁の不当  
判決に対して、吹田市労連として  
も、原告と共に最高裁へ上告を決

め、全国の非正規の仲間のために  
も、最後までたたかい抜く決意で  
す。

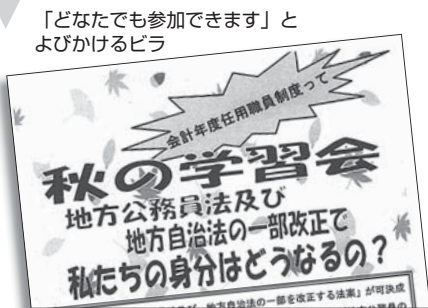
吹田では、市議会主導で「非常  
勤職員全体の給料を下げる」の攻  
撃がかかっています。住民のため  
の市政を取り戻すためにも、裁判  
闘争の支援を引き続きお願いしま  
す。

学童保育の民間委託で  
指導員の首切りはやめて



天王寺区  
守口市職労  
延山 知美さん

西端市長は、50年間公設公営で  
行ってきた学童保育を民間委託す  
る方針を出しました。パブリック  
コメントは854通も寄せられ、



嘱託評の学習会の参加対象を市職労役  
員にも広げ、「非正規問題学習会」を開  
催しました。法改正は非正規職員だけの  
問題でなく、自治体職員や自治体のあり  
方そのものにかかわる問題として職場に  
知らせること、雇用継続や処遇改善と組  
織拡大をつなげるたたかいをすすめるこ  
とについて意思統一しました。

## 秋の組織・共済拡大期間 非正規職員の声をあつめて 仲間を増やそう！

大阪府職労 病院職場の「無期雇用転換」説明会で加入相次ぐ



病院の前で「説明会」をお知らせ

枚方市職労 非正規評議会「秋の学習会」で職場の仲間が加入

非正規職員評議会は10月12日に秋の学  
習会と定期総会を開催しました。

「地方公務員法及び地方自治法の一部  
改正」の学習会は、未加入職員にも案内  
ピラを配り参加をよびかけました。当日  
参加した非正規職員が組合に加入してい  
ます。加入の決め手は「入ってくださ  
い」という率直な言葉でした。

貝塚市職労 市役所全体に関わると「非正規問題学習会」を開催



関心たく50人をこえる参加でした

今月のキーワード

肩のりペンギン

名古屋港水族館で、飼育されているペンギン。6月にYouTubeに動画が公開され、清掃中の飼育員の肩に乗るかわいい姿が注  
目されています。152羽いるペンギンのうち、昨年10月に水族館で生まれたアデリーペンギンのオスで、名前はつけられず「132  
番」とよばれています。肩に乗るのは、水槽の清掃の時で、平日は開館前のため見られません。土日は2回清掃のため、14時ごろ  
の清掃の時に来館者でも見られる場合があります。飼育員の間では、若いペンギンは好奇心旺盛のため、遊んでいるのではと言わ  
れています。ネット上ではいつでも見られますが、土日の名古屋港水族館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

今月のキーワード

選挙制度のゆがみ

総選挙で自民、公明の与党は、衆院定数(465)の3分の2を上回る議席をしめました。自民党は小選挙区で約2650万票を獲得、  
得票率は47.8%。全有権者では24.9%にもかかわらず、215議席を獲得し、全有権者の4分の1の票で、小選挙区で4分の3もの  
議席を占める結果となっています。また、比例代表でも、自民党は約1856万票。得票率は33.2%でしかありません。自民党の議席  
は小選挙区制中心の選挙制度のゆがみに助けられたものであり、明らかに「虚構の多数」です。国民の多数が総選挙で安倍首相を  
支持し、政権を委任したわけではありません。「信任された」と称して改憲や消費税増税など、暴走政治は絶対に許されません。